



普通高等教育“十一五”国家级规划教材



挑战 日语口语

——日文剧本、师生对话、汉语翻译

主 编 赵 平
主 审 横山义一

鲜活的语境
精彩的对白

附赠
MP3



南京大学出版社



普通高等教育“十一五”国家级规划教材
江苏省高校哲学社会科学研究基金项目

挑战日语口语

——日文剧本、师生对话、汉语翻译

主 编 赵 平
主 审 横山义一



南京大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

挑战日语口语. 日文剧本、师生对话、汉语翻译/赵平
编著. —南京:南京大学出版社, 2009. 7

ISBN 978-7-305-06340-4

I. 挑… II. 赵… III. 日语—口语 IV. H369.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2009)第 131598 号

出版者 南京大学出版社

社 址 南京市汉口路 22 号 邮 编 210093

网 址 <http://www.NjupCo.com>

出版人 左 健

书 名 挑战日语口语——日文剧本·师生对话·汉语翻译

编 著 赵 平

责任编辑 田 雁 编辑热线 025-83596027

照 排 南京玄武湖印刷照排中心

印 刷 南京人文印刷厂

开 本 787×960 1/16 印张 16.25 字数 312 千

版 次 2009 年 7 月第 1 版 2009 年 7 月第 1 次印刷

ISBN 978-7-305-06340-4

定 价 34.50 元(含光盘)

发行热线 025-83594756

电子邮箱 Press@NjupCo.com

Sales@NjupCo.com(市场部)

* 版权所有,侵权必究

* 凡购买南大版图书,如有印装质量问题,请与所购
图书销售部门联系调换

执笔

- 赵 平 (淮海工学院)
李 玲 (日本神户学院大学、同志社大学)
吴 琴 (日本大阪大学)
李 洁 (淮海工学院)
李爱华 (淮海工学院)
熊玉娟 (淮安生物工程高等职业学校)
倪龙渭 (淮海工学院)
崔 忠 (淮海工学院)

审校

- 横山义一 (原中国专家局专家)
福井耕一 (日本神户市中国文学研究家)
神野未央 (淮海工学院)

配套录音朗读者

- 古贺胜行 (日本专业演员, 配音演员)
森畑结美子 (日本专业演员)
齐藤由晃 (日本神户学院大学学生放送局)
松田光平 (日本神户学院大学学生放送局)
大野慎介 (日本神户学院大学学生放送局)
花本智瑞 (日本神户学院大学学生放送局)
三好麻衣 (日本神户学院大学学生放送局)
冈崎智 (日本神户学院大学学生放送局)
久保秀人 (日本神户学院大学学生放送局)
富永英津子 (日本神户学院大学学生放送局)
原由佳 (日本神户学院大学学生放送局)
左小妹 (淮海工学院外国语学院)
祁 蕊 (淮海工学院外国语学院)

韩 琦 （淮海工学院外国语学院）

赵 平 （淮海工学院外国语学院）

录音/剪辑 官本秀彦 赵 平

插 图 浦田千晶

序

伊藤 茂

神戸学院大学教授

中国戯曲学院客座教授

この『日本語会話への挑戦——シナリオ・会話と翻訳』は、日本語学習者とくに定石の日本語をすでに習得し、さらに生きた日本語を自在に使いこなしたいと願望している学習者にとって手放せないものになるだろう。

日本語の話し言葉では聞き手と話し手の関係が反映し、はなはだしく複雑微妙に表現が変化する。たしかにこういう使い分けが出来なくても、意味伝達にさして支障はないのだが、ただ「ガイジンの日本語」扱いされ、「お上手ですね」と冷ややかな賛辞を受け、いつまでも「お客さん」の立場から抜け出せないのも事実である。誰もが感ずる日本語習得の大きな壁のはずだ。もとより言葉は、社会や文化から生まれ、またそれらの影響を受けて変化する。ことに現代日本は、生活スタイルの激変期を迎えており、したがって日本語もきわめて大きく変化しつつある。またマスメディアの発達により、間断なく新しい言語現象が生まれ、すぐに古びて消えて行く。日本語研究者でさえ現状を追いかけるだけで精一杯なのである。

この書の貴重な価値は、日本人でも押し流されかねない日本語の変化の勢いに抗して、的確な分析を加え、該博な知識をもとに整理体系化し、そのうえ学習者にわかりやすい解説を成功させていることである。とくに「会話」の部分が圧巻である。教材の映画シナリオにある日本語の含蓄を汲み取り、なおそれを生きた日本語として使いこなすためのコツが惜しげもなく説明されている。おそらく類書などないと思われる。日本語は実は手ごわい言語ではないか、そう気づき始めた中級以上の学習者にとって、この書は闇路に見つけた灯火となるにちがいない。

趙平さんは、私が勤務する大学の博士課程で学ぶ大学院生であった。そうい

う出会いながら、私は彼に何も教えることがなかった。すでに熟達した日本語の使い手であったし、とくに文章の上手さは舌を巻くほどであった。彼はいくつかの小説を日本語で発表し、そのいずれもが文学芸術として高い水準を保っている。彼の故郷である貴州を舞台に、人の心の哀歓を静かにとらえ、真摯でしかもユーモアに満ちたそれらの作品を私は好んで読ませてもらっている。

私は趙平さんの文章から「余裕」を感じているのである。余裕は温かみやユーモアを生み出していく。本書から漂う匂いも彼の小説から感じ取れるものと共通している。本書で学習する人たちは、幸福だと思う。本書には、苦しい学習の合い間に思わず笑ってしまう箇所が随所にある。それは学生をあたたく見守る彼の余裕のあらわれであり、なにより彼自身の人柄をも表現しうる文章力の凄さを証明している。日本語教材としてとりあげられているのは、なにも映画シナリオの部分だけではないのだ。

私は、この書を日本の中国演劇研究者たちに勧めようと思っている。彼らは中国の演劇作品を日本語に翻訳することを意図し、中国語の話し言葉の機微を理解するために苦労している。日本と中国が相互に同じような難しさと悩みを抱えているわけだ。この書は、そういう悩みを抱えている日本の研究者にとっても大きな助け舟になるだろう。

私が夢想するのは、この書のおかげで優れた翻訳家が育ち、正確で良質な言葉によってつぎつぎと日本と中国の演劇や映画をたがいに紹介する時代がくることだ。いや、夢ではないのかもしれない。夢を現実にしてしまう力がこの「日本語会話への挑戦——シナリオ・会話と翻訳」にはあると確信している。

趙平さんは、この書の最後で学生にこう言わせている。

日本語の本をあれこれ読んでいますが、時々「私から日本語を取ったら何が残るのだろうか」と不安に思うことがあります。

これは、彼自身の述懐でもあるのだろう。いま、その中身を推測することは控えておく。ただ、彼の思いがそういうものなら、私もこの書の先生のように、

最後まで頑張ってきた君に心から一言、ご成功おめでとう
と言おう。そして、こうも付け加えたい。

読者が待っている。早く、次の仕事にとりかかりたまえ。

序 言

伊藤 茂

神戸学院大学教授

中国戏曲学院客座教授

这本《挑战日语口语——日文剧本·师生对话·汉语翻译》，对于日语学习者，特别是那些已经有了很好的基础、并欲更自由地驾驭活生生的日语学习者来说，将成为他们爱不释手的一册书吧。

日语口语，反映出听者与说者的关系，其表现复杂、微妙，极富变化。确实，即便不能区别运用，也并不妨碍意思的传达，但这样的日语总是被看作“外国人的日语”，并受到“您日语可真好啊”这样言不由衷的赞辞，而终难摆脱“客人”的角色，却是实情。这确是大家都有同感的日语学习的最大难关。诚然，语言孕育于社会与文化，同时又受其影响而不断地变化。尤其是当代日本正处于生活方式的激变期，因而日语也不停地发生着极大的变化。又由于新闻传媒的发达，新的语言现象不断涌现，却因其过时旋即销声匿迹。就连日语研究专家，仅仅要赶上潮流也必须全力以赴。

这本书的可贵之处在于：它不畏这种连日本人也难以驾驭的日语变化的势头，运用精确的分析和广博的知识，对日语的生活语言加以整理而使之系统化，并且成功地进行了能让学习者明白易懂的解说。《师生对话》为全书的华彩部分。它汲取了电影对白中日语的含蓄，并对如何熟练运用这种含蓄于栩栩如生的日语中的诀窍，不遗余力地作了解说。我想，类似相同的书恐怕还没有。对于已经开始感到日语甚为棘手的中级以上的学习者来说，这本书无疑将成为夜路上的一盏明灯。

赵平曾是我所执教大学的博士研究生。虽然因此而与他相识，但我却什么也没有教过他，因为他的日语已经说得很老练，特别是他的文章写得好，令人赞叹。他以日文写作，发表了多篇小说，篇篇具有很高的文学艺术水平。他的作品以故乡贵州为舞台，轻松地把握住人物内心的悲喜哀乐，真挚而富于幽默，我喜而好读之。

我在赵平的文章里感受到他的“从容”。这种从容孕育出温情与幽默。本书所散发出的气息，与从他的小说里所感受到的东西是相通的。我想，使用本书学习的人们是幸福的。因为在艰苦的学习之余，情不自禁地会令你开怀大笑，这样的情景在本书中随处可见。这既是他对学生亲切关爱的仁厚之表现，更是能显示其自身人格于文章的魅力之证明。作为日语学习素材被

推出的,并非只是单纯的电影对白这么一个部分。

我想把这本书推荐给日本的中国戏剧研究者们。他们意欲将中国的戏剧作品翻译成日文,为理解汉语的会话语言之微妙而在绞尽脑汁。日本和中国相互都苦于同样的艰难与困惑。这本书对于抱有这种困惑的日本研究者来说,也将会成为他们的渡津之筏吧。

我梦想着这样一个时代的到来——有赖于本书而培养出优秀的翻译家,以准确而有质量的语言,将日本的和中国的戏剧、电影等一部部地相互介绍给对方……不,或许这不是梦想!我确信,将梦想变为现实的力量就在于这本《挑战日语口语——日文剧本·师生对话·汉语翻译》中。

赵平在本书的最后让学生这样说道:

这样那样的日语书也读了不少了,但时时会不安地想:“如果从我这里拿走了日语,我还能剩下什么呢?”

这亦是他的自我感怀吧。这里且不去推测其话中含义,他若作如是想,我也要像本书中的老师那样——

对努力到最后的你从心里说一句:祝贺你的成功!

而且还要追加一句:

读者在等着呢,快去进行下一部书的写作!

汪捷译

目 录

| | |
|-----------------------|-----|
| 序言(日文・译文) | 1 |
| 第1幕 「ジュブナイル」 | 1 |
| 第2幕 「千と千尋の神隠し」 | 11 |
| 第3幕 「いこうかもどろうか」 | 19 |
| 第4幕 「蚊チューシャ」 | 29 |
| 第5幕 「蚊チューシャ」 | 38 |
| 第6幕 「千と千尋の神隠し」 | 47 |
| 第7幕 「ケチャップ」 | 55 |
| 第8幕 「赤ひげ」 | 66 |
| 第9幕 「学校」 | 76 |
| 第10幕 「ルパン三世・カリオストロの城」 | 85 |
| 第11幕 「値打ちのある猫」 | 93 |
| 第12幕 「男はつらいよ・望郷篇」 | 103 |
| 第13幕 「里見八犬伝」 | 112 |
| 第14幕 「男はつらいよ」 | 121 |
| 第15幕 「男はつらいよ・寅次郎・紅の花」 | 131 |
| 第16幕 「さくや」 | 140 |
| 第17幕 「赤ひげ」 | 150 |
| 第18幕 「八月の狂詩曲」 | 160 |
| 第19幕 「鉄道員」 | 169 |
| 第20幕 「新・男はつらいよ」 | 178 |
| 第21幕 「用心棒」 | 189 |
| 第22幕 「里見八犬伝」 | 200 |
| 第23幕 「赤ひげ」 | 210 |
| 第24幕 「里見八犬伝」 | 222 |
| 第25幕 「新・男はつらいよ」 | 231 |
| 第26幕 「用心棒」 | 242 |

第 1 幕

『ジュブナイル』

□ 影片故事梗概：

祐介、小岬、秀隆、俊也等孩子们与机器人泰特拉邂逅，并在泰特拉的帮助下击退了外星怪物，保护了地球。为了修复被外星怪物击毁的泰特拉，祐介等孩子们立志投身科学研究。若干年后，长大成人并成为科学家的祐介等人才发现，泰特拉就是他们自己制造出来并回送给孩提时代的自己的礼物。

□ 所选场景：

孩子们刚从野外带回不速之客泰特拉，并为泰特拉的工作准备部件。

□ 出场人物：

ゆうすけ 祐介、祐介の母、みさき 岬、テトラ、ひでたか としや 秀隆、俊也

シナリオ

- 祐介の母 おや、岬ちゃん。
- 岬 こんにちは、祐介君いますか？
- 祐介の母 ああ、朝からなんかやってるから、勝手に中に入ってっちゃって。
- 岬 ハイ！ お邪魔で一す。チース……どんな感じ、祐介君？（手にした紙袋を振る。紙袋の底が抜けて中から物がこぼれ落ちる）
- 祐介 うわあっ！
- 岬 ごめーん！ ごめーん！
- 祐介 ああ、ビックリした。
- 岬 呼んでもぜんぜん答えてくれないんだもん。
- 祐介 ごめん、ごめん。でもマジビックリした。まだ心臓バクバク言ってるよ。
- 岬 あっ、これテトちゃんにおみやげ。
- 祐介 ありがとう。
- 岬 これはアルミで……後、こういう部品もいるの。
- 祐介 テトラに聞いてみようぜ。テトラ、必要なものを選びな。
- 岬 （ロボットのテトラを見て）かぁわいい！
- 祐介 気に入ったみたい。
- 岬 なに作ってんの？
- 祐介 なんかも部品みたいなものいっぱい、すごい勢いで作ってるんだ。
- 秀隆 お邪魔？
- 祐介 わあーっ！ なんだよ！ 勝手にあがってくんなよ。
- 秀隆 おばちゃんのお許しもらってんだよーん。
- 俊也 テトリンどうなった？
- 祐介 そっとだよ。（一同、テトラがものを作っているのを見る）……じゃ、みんなテトラの部品よろしく。
- 岬 オッケー。
- 秀隆 了解！
- 俊也 そんなじゃ、俺達帰るぜ。（岬、テーブルを片付ける）
- 祐介 ああ、いいって、いいって、俺やるから。
- 秀隆 祐介じゃなくて母ちゃんがやるんだろう。
- 岬 それでは、それでは、お邪魔しました。

祐介 あの子、もう暗いからさあ、何なら送ってくけど。
岬 えーっ、ホント？
俊也 あ、いいよ。岬んち、俺んちのそばだから。岬、じゃ行くぜ。
岬 うん……じゃあまた。何か見つけたら持ってくるね。
祐介 うん。

対 話

学生 先生、「入ってっちゃって」は、何の略でしょうか。
先生 えーとね、それは、「入って行ってやって」の約音じゃないかと思う。つまり、[haitteitteyatte]から母音[i]と[e]が脱落して、[haittettyatte]となり、それがさらに[haittetchatte]になったものだ。音韻論的に言えば、それは「縮約形」、つまり、音声面での省略形という。断らないで入っても構わない、強いて気にする必要はない、という意だ。このシナリオの中でも、約音、あるいは縮約が多く見られる。君たち、探してみてください。
学生 分かりました。「ビックった」とか、「言ってる」とか、「送ってく」とか、確かにいろいろありますね。「チース」もその一つでしょうか。辞書を調べ尽くしたのですが、見あたらずに外来語じゃないかと思いました。
先生 「チース」を縮約形ととると、かなり発展した縮約だね。それは、「ちわで一す」の略語だと思う。
学生 「ちわで一す」って？
先生 「こんにちは一す」だよ。子供や若者に使われていた表現だったが、今はあまり使われなくなっている。いわば、流行語の一つだったのだろう。学生言葉として「ちわす」「ちわっす」そして「ちす」「ち一す」となっていったんだと思う。私も学生時代には使っていたよ。
学生 「マジビックった」も若者の用語ですか。
先生 そうだね。「マジ」は「まじめに」の略で、「本当に」「とても」という意の若者言葉だ。「ビックった」は、「ビックリした」の略で、「事故る」と同じく若者言葉だ。留学先の大学の食堂で昼食を取りながらNHKの「私の青空」というドラマを見たことがある。その中で、おじいさんが孫にタケノコは大きくなると竹になるんだよと教えている場面があった。「そんなことくらい誰でも知ってる」と思ったが、隣にいた大学生の何人かが、「エー!! マジ! ウソだろう!」という驚きの声をあげた。まあ、いずれにせよ、今で

もそういう言い方が使われているところを見ると、すでに日常用語に定着している表現だろう。

学生 「心臓がバクバクする」と言えば理解しやすいですが、「バクバク言っている」となると、ちょっと理解しにくくなります。心臓はお喋りなんかしないでしょう。漫画の世界じゃあるまいし。

先生 これこれ生意気なことを言っちゃいけないよ。「言う」はものを言うという他動詞的な使い方の外に、擬音語や擬態語、つまりオノマトペについて、そういう「音」が聞こえるという自動詞的な使い方もある。「カタコト言わせる」は、物音を立てるという意になるのだよ。

学生 そうですか。失礼しました。ところで、「選びな」というように、動詞の連用形につく「な」は「なさい」と同じですか。

先生 うん、それは補助動詞の「なさい」を省略した俗語的表現で、ぞんざいな命令を表す。終止形を受けて禁止の意を表す終助詞の「な」とはちゃんと区別しなさい。なにしろ、「選びな」と「選ぶな」は、意味が相反しているからね。

学生 はい、気をつけます。話は戻りますが、「何を作ったの」や「あがってくんなよ」も、今教えて頂いた縮約形ですか。

先生 縮約は縮約だが、音韻論ではラ行の撥音化と分類されたもので、「分かんない」、「お帰んなさい」というように、上方語でよく見られる現象だ。同じ現象に、助詞「の」の撥音化や接続助詞「て」、「で」の音便がある。「岬の家」は「岬んち」になったり、「言っておく」は「言っとく」になったりする。これらは日本語を勉強するときには理解しておかなければならないものだが、わざわざまねる必要はない。下手に使ったら乱暴に聞こえるからね。

学生 はい、分かりました。最後に、「いいって」という表現にある「って」は、縮約形で、格助詞「と」に当たる東京の方言と考えていいですか。

先生 それもまた早合点だね。「と」に当たるものでもないし、東京地方の方言でもない。どちらかというところ、「ってば」の「ば」を抜いたような使い方だと思う。「ってば」は副助詞とされ、「いやだってば!」「そんなことないってば」「あなたってば、聞いているの?」などのように、驚きや否定、非難、苛立ちなどの気持ちをこめて使うことが多く、また、くだけた場面にしか用いない。「ってば」は語気が強いので、「ば」を抜いて語気を幾分柔らかくするのだが、それでも若者がよく使ういわゆる「タメ口」といわれるナアナア言葉で、目上や距離のある人間関係を意識するときは、やはり

「いいです」と言った方がよいだろう。余談だが、一度アルバイトで宅配をやったことがある。宅配は時間との戦いを強いられていて、配達先不在による持ち帰りは致命的だった。そこで、私と同行していた若い兄ちゃんは大人が不在で、年端もいかぬ子供でもいようものなら、その子の手を握り強引にサインをもらい荷物を置くことにしていた。ある日、その家には大人も子供もいなかった。困った彼は玄関わきで寝ていた犬に目をつけ、犬の手でも拝借しようかなと呟いた。「危ないからやめてください」と止めてみたが、「いいっていいって」といいながら、犬の前足を掴んでサインさせようと試みた。

学生 で、うまくいきましたか。

先生 その日、彼と私は血まみれになって会社に戻った。さすがにサインはもらえなかった。

学生 かわいそうに。でも、この余談のおかげで、私は、「いいって」の使い方をしっかり覚えましたよ。

基本語彙

1. ジュブナイル(juvenile)[名]青少年
2. シナリオ(scenario)[名]电影脚本
3. こぼれ落ちる(こぼれおちる)[自一]掉出来,落下来
4. バクバク[副ト・自サ](心)怦怦跳
5. 音韻論(おんいんろん)[名]音韵学,语音学,音声学
6. 縮約形(しゅくやくけい)[名]缩约形,约音
7. 強いる(しいる)[他一]强制,强迫,迫使
8. 見あたる(みあたる)[自五]发现,找到,看到
9. 生意気(なまいき)[形動]牛气,傲慢,狂妄
10. オノマトペ(onomatopoeia)[名]象声词
11. ぞんざい[形動]草率,粗鲁,不礼貌
12. 上方語(かみがたご)[名]京都、大阪方言
13. 早合点(はやがてん)[名・自サ]贸然断定,自以为是,不懂装懂
14. 苛立ち(いらだち)[名]烦躁,急躁
15. くだける(砕ける)[自一]平易近人;碎,破碎
16. 幾分(いくぶん)[副]某种程度,多少,稍微
17. ナアナア[連語](俗)互相哼哼哈哈敷衍了事
18. 余談(よだん)[名]离题的话,闲话

19. 配達先(はいたつさき)[名]发送目的地,送交地址
20. 年端(としは)[名](指儿童)年龄,年岁
21. 強引(ごういん)[形動]强行,强制,硬干
22. 血まみれ(ちまみれ)[名]沾满鲜血,浑身鲜血

解 说

<シナリオ>部分

1. 呼んでも全然答えてくれないだもん。

「もん」为「もの」的口语形式,用于申述理由,女性和儿童常用。

◇ きらいだもん。/因为我不喜欢嘛!

2. かあわいい。

源自形容词「かわいい」,此处将「か」的发音延长一拍,表示的意思不变,但强调了说话人的喜爱之情。

3. おばちゃんのお許しもらってんだよ一ん。

「よ一ん」为「～よ」的口语化说法,有顽皮调侃的语感。

4. そつとだよ。

「そつと」为副词,此处表示“悄悄”、“不惊动”。

◇ しばらくそつとしておいたほうがいいよ。/暂时还是不要惊动它得好。

5. そんなじゃ、俺達帰るぜ。

「そんなじゃ」为「それでは」的口语表达形式之一,语气较为随便。

◇ そんなじゃ、やりたくないってことだね。/那么说你是想不干,是吧?

6. 何なら送ってくけど。

「何なら」为副词性用法,以假设的语气表示委婉地提出建议或愿望。相当于中文的“如果需要的话”、“要是你愿意的话”。

◇ 何なら、私のを使ってください。/需要的话就用我的好了。

<対話>部分

7. 気にする必要はない、という意だ。

「気にする」表示“在意”、“介意”。

◇人のうわさなんか気にするな。/别在意他人的风言风语。

8. いずれにせよ……

意为“反正”、“总之”、“不论如何”。

◇いずれにせよ、もう一度会ってよく話をしよう。/不管怎么样，再碰个头，好好谈谈吧。

9. 漫画の世界じゃあるまいし。

「～じゃあるまいし」为「～ではあるまいし」的口语，表示对某原因、理由的否定。

◇人のことじゃあるまいし、まじめに考えなさい。/也不是别人的事情，你要认真考虑一下。

10. これこれ生意気なことを言っちゃいけないよ。

「これこれ」在此为感叹词，意为“喂、喂”，用于唤起对方注意，一般用于地位高的人对地位低的人或平级之间，类似的用法还有「こらこら」。注意将其与代词的「これこれ」区别开来。

◇これこれ、もたもたしないで早くせえ！/喂喂，别慢吞吞的，快点儿！（感叹词）

◇これこれの場合にはこれこれと言えと教えられた。/教我在这样的场合要如此这般地说。（代词）

11. カタコト言わせる。

之间省略了助词「を」，其意为“弄得嘎吱嘎吱响”、“使……发出声音”。注意这种「言う」的使役态用法。「カタコト」为象声词（拟声词），表示物体发出的声音。

12. なにしろ、「選びな」と「選ぶな」は、意味が相反しているからね。

「なにしろ」是由代词「なに」+动词「する」的命令形构成的副词，用于表示其他事情姑且不谈，只想强调紧接其后的事项。相当于汉语的“无论怎么说”、“总之”等意。此处与表示原因的接续助词「から」呼应，用来强调该原因。

◇なにしろ、その暑さはひどいもんで。/总之，这么热让人真受不了。